

関西地方支部新春旗開き 今年も一致団結で前進する年へ

1月9日、午後4時から関西地方支部5階大会議室で、職場委員、現場組合員、全国海友婦人会、関係各社、国会議員をはじめ県議会・市議会の各級議員、関係官庁などの関係者、約200人が参加しての関西地方支部新春旗開きが開催された。

はじめに主催者を代表して浦隆幸関西地方支部長が「新しい年を迎え洋上で船務に励む皆さまの日々の努力と奮闘に心から敬意を表します。組合員の皆さまと本日までご出席いただいた皆さまの健康で実りのある1年となるよう祈念する」とあいさつした。

続いて本組合を代表し、松浦満晴組合長から「今年の活動方針を具現化するため本部、支部が一丸となり船員の後継者確保、育成などのさまざまな課題に取り組みたい。昼夜を問わず安全運航に務めている組合員の皆さまとその家族のご健勝・安全運航・安全操業を祈念する」とあいさつした。

次に来賓の神戸運輸監理部の峰本健正監理部長、神戸市港湾局の小嶋省一港湾副局長、全日本港湾運輸労働組合同盟の足立賢次会長、日本旅客船協会の加藤琢二会長、公明党 前国土交通大臣・中野洋昌衆議院議員、黒田一美兵庫県議会議員（組合政治参与）、酒井 智代子全国海友婦人会会長から祝辞をいただき、会場の「よいしょ・よいしょ・よいしょ」とのかけ声とともに鏡開きが執り行われた。

最後は参加者全員の三本締めが行われ、和やかな雰囲気新春旗開きを終えた。

「海員だより」